

さけます関係研究開発等推進会議研究部会報告書

会議責任者	北海道区水産研究所長
-------	------------

- 1 会議日時及び場所 日時 平成30年8月7日(火) 9:30～12:30
場所 ホテルライフオーツ札幌(札幌市中央区南10条西1丁目)
- 2 出席者所属機関及び人数 28機関 73名
- 3 結果の概要

議 題	結果の概要
1 議題の確認、付託事項の確認および分科会の設置	議題・運営要領を確認した。サクラマス分科会への追加の付託事項はなかった。
2 各機関の研究開発の実施状況	道県試験研究機関及び当機構のさけます関連研究課題を取りまとめた「平成29年度さけます関連研究開発課題一覧」に基づき、各試験研究機関から実施概要の紹介がなされ、質疑応答が行われた。また、出席の大学から研究の概要紹介がなされた。
3 標識放流結果及び計画	各試験研究機関等が行った平成29年度の標識放流結果、平成30年度の標識放流計画について、北水研が取りまとめた資料が提供され、情報共有された。
4 平成29年漁期におけるサケ資源状況に関する検討	北水研から東北水研・日水研と検討した平成29年漁期のサケ資源状況とその減少要因についての分析結果を以下のように報告した。 平成29(2017)年漁期のサケ来遊資源量は1985年以降最低であった前年をさらに下回った。5年魚(2012年級群)は全国的に少なく、4年魚(2013年級群)も太平洋側を中心に極めて少なかった。これらの回帰主年齢群の来遊量が減少したことが、全体の来遊量を減少させた。2012年級群および2013年級群の降海時期である2013年および2014年の春季の北日本沿岸の水温は平年と比べ低く、初夏はかなり高かったため、サケ幼魚の分布・回遊に適した水温環境が形成

<p>5 サクラマス分科会 報告</p>	<p>された期間が短かったと推測された。このことが、2012年級群および2013年級群の豊度の減少に影響を与えた可能性が示唆された。</p> <p>質疑応答の後、分析結果に同意が得られた。</p> <p>8月6日13:30～17:30に北水研会議室においてサクラマス分科会を開催した。北水研より、サクラマスの生活史パラメータの推定と、資源の回復と保全をめざした今後の方向についての研究の結果、サクラマスが自然再生産している河川への幼稚魚放流はスマルト化率に対して負の効果を及ぼす場合があること、そのような状況ではまず産卵場や育成場所の保全と拡大を行い、さらにモニタリングを実施する必要があること、また自然再生産が維持されている河川への放流は実施前に慎重に検討する必要があることなどが報告された。</p> <p>各機関が実施しているサクラマス資源再生産実態モニタリングの実施状況と結果について報告が行われ、実施上の問題点について意見交換を行った。さらに、各機関独自の取り組みや研究結果の報告・意見交換と水産庁国際漁業資源評価調査・情報提供委託事業におけるサクラマス資源調査の概要の報告が行われた。</p>
<p>6 研究ニーズ・共同 研究の提案</p>	<p>北海道大学 上田名誉教授より、サケ漁業資源への各地域の人工ふ化放流事業の効果判定を行うため、道県試験研究機関共同で耳石温度標識放流と漁獲魚の耳石調査が必要であることが指摘された。資源管理上、重要な知見が得られることが期待される調査であるが、知見を利用した資源管理・漁業調整などの行政措置の事前検討が必要なため、北水研から機会をとらえ水産庁へ提案することとした。</p>
<p>7 その他</p>	<p>関係機関および他機関でのさけます研究を促進するため、関係機関間で交換しているさけます増殖・資源に関する統計・モニタリングデータのHPでの公表について、関係機関間で同意が得られた。一部のデータに関しては、公開には集計が必要との指摘があったため、北水研と担当機関の間での検討を経たのちに、北水研HPでの公表準備を行う。</p>

平成 30 年度さけます関係研究開発等推進会議
研究部会 議事次第



日 時：平成 30 年 8 月 7 日（火） 9：30～12：30
場 所：ホテル ライフォート札幌 札幌市中央区南 10 条西 1 丁目
TEL：011-521-5211
主 催：国立研究開発法人 水産研究・教育機構 北海道区水産研究所

1 挨拶

主催者：北海道区水産研究所長

2 議 事

- (1) 議題の確認、付託事項の確認および分科会の設置（資料 1）
- (2) 各機関の研究開発の実施状況（資料 2）
- (3) 標識放流結果及び計画（資料 3）
- (4) 平成 29 年漁期におけるサケ資源状況に関する検討
 - ① 水研機構担当者からの報告（北水研さけます資源研究部 齊藤グループ長）
 - ② 意見交換
- (5) サクラマス分科会報告（北水研さけます資源研究部 佐藤グループ長）（資料 4）
- (6) 研究ニーズ・共同研究の提案
- (7) その他
 - ① サーモンデータベースの北水研ウェブサイトでの公開について
 - ② その他